

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名： 医学(医学科)・医学系研究科

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 部局独自の奨学金を活用した海外留学の奨励などにより、学生の海外派遣人数が顕著に増加している。海外協定校数についても、1年間で9機関増やすなど、学生の派遣先の確保も積極的に進めていることが評価できる。
【研究】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 平成 28 年にノーベル医学生理学賞の対象となったオートファジー研究に焦点を当てた「オートファジーセンター」を我が国で初めて設置し、当該領域研究のさらなる発展への体制整備を行っていることが評価できる。
【社会貢献】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 産学連携・クロスイノベーションイニシアティブの活動を通じて、同年度中に民間企業と 14 件の包括連携協定を締結したことが評価できる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【財務】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。